

「未来防災」防災教育・研修プログラム

防災士 鷲山龍太郎

A 講演・出前授業

○対象や課題、制限時間に応じて編集して講義します。

○対象 児童生徒・学校職員・保護者・自治会・防災拠点運営委員会

○地域の地形、地学的特質から災害リスクを知り、対応を「自ら考える」ことを目指します。

No.	講義項目	内 容
1	地域の自然理解と災害メカニズム	① 日本列島に地震が多い理由 関東地方は「地球の裂け目」 ② 横浜の土地 特性と地震動を増幅する地質 ③ 風水害・土砂災害・地震・火山が作った土地 ④ 地域の地形、地質、災害履歴と災害リスクの理解
2	地域の災害リスクと対応を理解する	① 地震で人は死なない。家屋倒壊、家具転倒、火災、津波がリスク。 ② 過去の災害の教訓 ③ 今後の震災の死者想定半数は倒壊、半数は火災？
3	自治会・マンション等の「地区防災計画」立案	① 地域防災拠点と各自治会の役割分担 ② 初期消火・救出活動は 自分、家族、近助 自治会、マンションでの町づくりと共助の意識化 ③ 災害対策基本法と地区防災計画制度を知る ④ 自ら考えてまとめたら「地区防災計画」
4	過去災害に学ぶ初期対応の重要性	① 阪神淡路大震災、生存者の多くは自力か近隣住民による救出 ② 東日本大震災の教訓 ③ 大阪北部地震の教訓
5	学校と地域の連携	① 学校が防災教育のできること ② 地域と学校、保護者で災害リスクの共通理解 ③ 地域防災行事への学校授業としての児童、保護者の参加
6	地域連携と防災	① 学校運営協議会で、地域との連携と防災について継続協議 ② 学区の防災マニュアル確立 ③ 学校を拠点とした町づくり
7	在宅被災生活～災害に強い個人と家庭～	① 避難所に行かずに自宅で生活するためのトイレバック、水、食料備蓄。循環備蓄 ② 夜間照明やカセットコンロ調理の工夫 ③ 高密度ポリエチレン袋を使った最小限の水のできる炊飯、調理
8	地域防災拠点の運営	① 家に住めなくなった人の一時的収容 ② 人権配慮、男女問題、ペット問題トイレ、水、問題解決学校職員の防災拠点支援力 ③ 避難所運営のシミュレーション

B 参加型「防災計画立案」リスク・コミュニケーション・ワークショップ

No.	ワークショップ項目	目的	支援・助言の内容例
1	地域防災拠点運営委員会ワークショップ	防災拠点運営マニュアルの改善と実質化 またはブラッシュ・アップ	① マニュアルがまだ確立していない場合には、各班に必要な課題を提示し、各班で考えて、それをマニュアルに具体化していきます。 ② 各班は防災マップや市の防災マニュアルなどを根拠に考え、統括本部に意見具申。統括本部はそれに対して判断を示す形でリスクコミュニケーションを進めます。 ③ 防災士は、過去の教訓や法令、地域防災計画、マニュアルを根拠に監修、助言します。
2	自治会・マンション等地区防災計画検討ワークショップ	「地区防災計画」立案に向けた話し合いを盛り上げます	
3	学校職員防災力アップワークショップ	児童生徒の安全確保と地域防災拠点支援を組織的に実行できるようにする	
4	児童生徒も模擬防災班ワークショップ	総合的な学習の時間の一環として、模擬的に町の防災各班になって災害対策を考える。	模擬的に地域の本部、生活班、初期消火班・救出班・救護班、避難誘導班、避難所運営班、要援護者対策班などになって、災害対策に問題意識を持ち、主体的に学習に取り組めることを目指します。

C 実技訓練・体験教室

No.	ワークショップ項目	目的	支援・助言内容例
1	防災資機材取り扱い訓練	防災備蓄倉庫に眠っている資機材をすべて開封し、出して使用方法を知る訓練	① 防災備蓄庫の救出資機材を開封して使ってみましょう。 ② レスキュージャッキ、バール、ノコギリ、ハンマーなどの用具に慣れ、防災拠点訓練で住民や児童などに教えましょう。 ③ サッカーゴールなどを使用したジャッキアップ訓練。 ④ 各種担架、車椅子、リヤカーなどを活用した搬送訓練。 ⑤ 特定小電力トランシーバー、デジタル無線電話・公衆電話の設置 実際にかけてみる訓練。 ⑥ 屋内消火栓使用訓練 ⑦ 受水槽水質検査・水利用訓練 ⑧ 学校施設解放訓練 「お札作戦」 「立入禁止」女子トイレ」など想定して「看板」で避難所に秩序を確立する。
2	職員防災拠点支援訓練 防災リーダー研修	学校防災計画に基づき、職員が組織的、自立程に、児童生徒の安全確保と地域防災拠点支援を行うための実技やリーダーとしての指導力を養う。	
3	自治会・マンション等初期対応訓練	自治会・マンションで何を備え、どう初期対応するか考える訓練。	
			① 自治会・マンションの災害対策本部、いっつき避難場所に何を備えるべきかを知り、考える。 ② 安否確認、初期消火、救出活動の取り組み方の構築を実演して考えます。 (救出用具等はある程度持参します。)